

ぜん きょう じ  
善巧寺報

9 月号



月刊●善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号  
TEL 048(734)7660  
榎本明覚



四代目 春山作

二八〇年の伝統を誇る独特な柔らかな風合いが特徴の江戸木目込人形。  
写真は四代目名川春山氏作～弁慶～

東京教区の名品・特産品

～ 東組 江戸木目込人形 ～

▼二〇二四年九月一日▲

# 定例法座

毎月  
十一日

◎九月十一日(水)午後二時

～三時

於 善巧寺 法輪会館

## 「浄土真宗のキモ」

浄土真宗の教えは『大無量寿経』というお経をよりどころとしています。『大無量寿経』でお釈迦さまは、自身が仏陀と成るよりずっと昔に、法蔵と名乗る菩薩が今まで誰も起こしたことがない願い、すなわちとても仏に成れないような者を決して見捨てないという誓願を建て、途方もない時間修行して、遂に阿弥陀(誰もつまはじきにしない)と名乗る仏と成ったという事が説かれています。仏の大慈悲心の究極が説かれたお経が『大無量寿経』であると言ってよいでしょう。さて、阿弥陀仏の誓い

がどのような成就されたのかについて『大無量寿経』の下巻には「私の名(南無)まかせておくれ(阿弥陀仏)あなたを捨てない)を聞くと、あれこれとはからう心が止み、信じ喜ぶ心が生じます。煩惱だらけの凡夫の心に「だからこそ捨てはせぬ」という仏の真心からの呼び声、清浄なる心が不滅の灯となって一生涯、凡夫の煩惱心を照らし護り続けるのです。このようにして凡夫に与えられた清浄真実の仏心が種となり、やがて今生の終わりに真実の浄土に往生し、煩惱に痛み苦しみ振り回されることのない仏と華開くのです」と説かれます。後生の事にあれこれ迷うことがなくなり、生死の解決がただ今、今いるこの場所で完結する、「浄土真宗の肝要(キモ)」はこれに極まるのです。

# みほとけ会

※ ZOOM ミーティング ※

九月は、ZOOM ミーティングはお休みです。次回は一〇月三日(木)八時。参加ご希望の方は、

[jefidget@gmail.com](mailto:jefidget@gmail.com) まで

メールお願いします。開催当日夕方方に招待メールを返信いたします。

## 秋季彼岸会

◎九月二十二日(秋分の日)

午後二時～三時 於 本堂

日程

午後二時～ 法要

ひきつづき 法話

「二河白道講話」

午後三時十五分 報恩堂彼岸会

(永代納骨報恩堂前でお勤めいたします ※荒天時中止)



善巧寺蔵「二河白道図(彩色版)」について

幕末～明治にかけて仏画作品を残している北邑桃溪の木版画に、東京美術学校(現東京芸大)日本画科を卒業された川崎雅(ただし)氏が彩色されたのがこの「二河白道図」になります。川崎氏は1943(昭和18)年6月に赤紙召集され、奥様と生まれたばかりの赤ちゃんを残して出征、その二年後にルソン島にて戦死されました。奥様の川崎文子さんは女手一つで娘を育て上げ、今年100歳を迎えられました。今や世田谷区においてただ一人の戦争未亡人となられたそうです。怒りの炎と貪りの暴流に飲み込まれないよう一人ひとりが恥を知り、戦争という人災をなんとかしてでも回避しなくてはならないと強く思われます。

# 魁！ 仏教塾

宗派を問わず大乘仏教の構造を理解したい方のための講座です。

次回、九月二十八日(土)

第八回(補講Ⅳ)

「真言(弘法大師空海を通して)」

午後一時～二時 講義

場所善巧寺法輪会館

会費五〇〇円(おやつ・資料代)

※補講含め計五回参加された方にはもれなく記念品を贈呈させて頂いております。

## ◆ 春日部だより ◆

◎ ようやく酷暑もおさまり、朝夕は過ごしやすくなってきました。あつという間に秋のお彼岸です。東京神奈川のご門徒さまで例年参詣をされているお宅には、参詣日時を記したお手紙を同封しております。御目通しの程、よろしくお願い申し上げます。